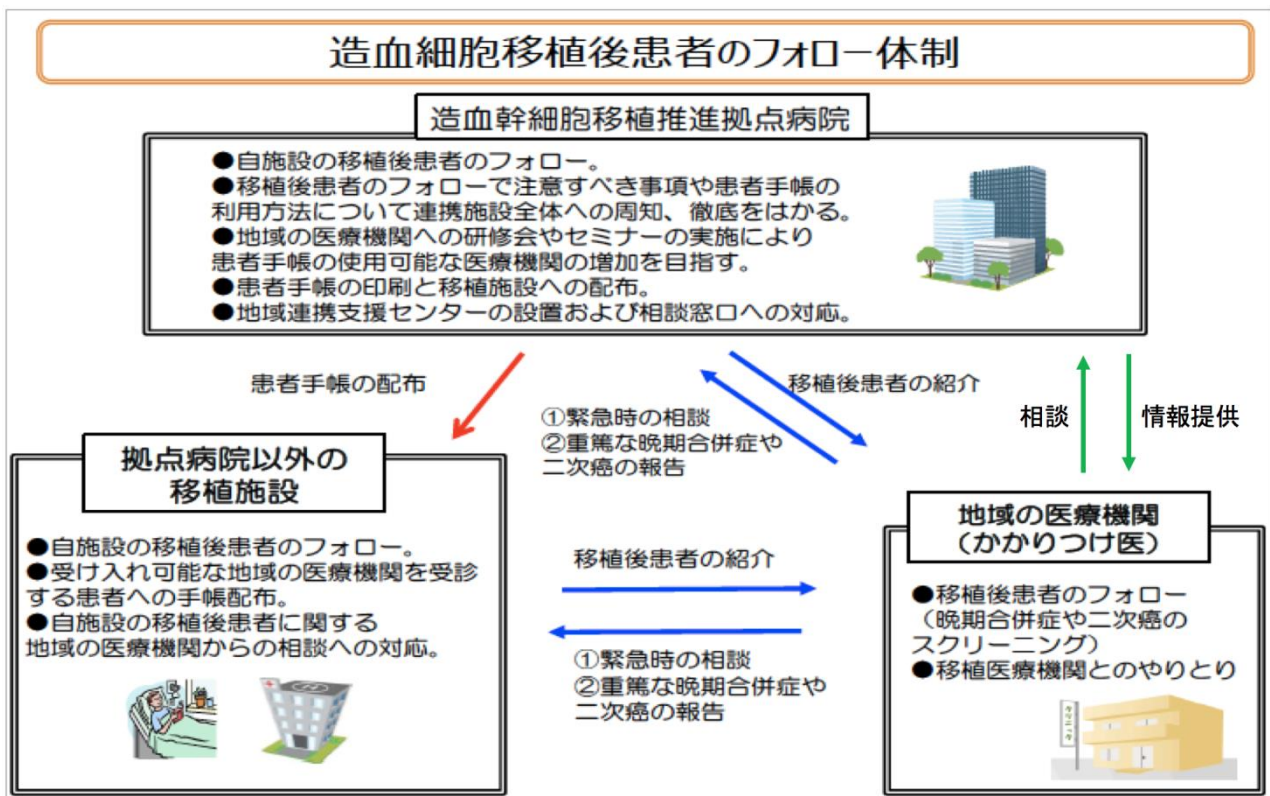
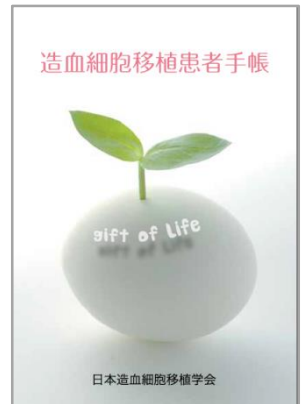


同種造血幹細胞移植後患者の地域連携(造血幹細胞移植後患者手帳)

難治性血液疾患に対する造血幹細胞移植は現在のところ四国各県でそれぞれ毎年 20-30 例施行されております。近年では長期生存者が増加しており、生活習慣病、心血管障害、二次がん、感染症など、移植後の長期フォローアップと定期的な健康管理が大切となっています。この長期フォローアップと健康管理は、決して特別なものではなく、移植施設以外の地域の医療機関、クリニック、会社の健康管理センターにおいても行うことができます。

このたび、厚生労働省と日本造血細胞移植学会が協力して患者手帳を作成いたしました。この手帳の目的は、患者の医療情報の提供、生活習慣病予防、がんの早期発見、ワクチン接種など、移植後健康管理の具体的なポイントを共有する事によって、地域の先生がたと連携して、移植患者さんの長期健康維持を図ることです。なお、専門医療機関の受診が必要と判断された場合は、紹介元の移植施設への受診をご検討ください。

造血幹細胞移植推進拠点病院(四国では愛媛県立中央病院)では、造血幹細胞移植地域連携・患者支援センターを設置し、電話やメールで相談を受ける体制を整備しております。移植に関する困ったことがありましたら、こちらもご利用ください。



今後とも宜しくお願い申し上げます。

造血幹細胞移植推進拠点病院
愛媛県立中央病院 血液内科
造血幹細胞移植地域連携・患者支援センター

HP: http://www.eph.pref.ehime.jp/epch/medical/mc_section/hct.html

TEL: 089-947-1111 (平日 8:30-17:00)

Mail: c-ynawa@eph.pref.ehime.jp